

# 令和3年市政主要ニュース

## **1 地区公民館がコミュニティセンターへ（4月1日）**

新社会教育の活動拠点として市内13地区に設置していた地区公民館が、4月1日からコミュニティセンターに変わりました。これまで担ってきた社会教育施設としての役割に加え、防災・福祉・地域振興など幅広い地域活動を支える地域づくりの総合的な活動拠点となりました。関金地区や上小鴨地区では共助交通の検討が開始され、上北条地区、小鴨地区に次いで運行開始が期待されます。

## **2 第12次倉吉市総合計画スタート（4月1日）**

令和2年5月から、より多くの市民の意見を伺うためのワークショップを開催しながら策定した第12次倉吉市総合計画が4月より、スタートしました。これからもずっと「くらしよし」であり続けるために「元気なまち、くらしよし、未来へ！」をスローガンとして、新しい「くらしよし、倉吉」を、みんなで一緒に作り上げ、希望に満ちた未来に向かって歩いていくことを目指します。

## **3 新型コロナワクチンの接種進む（5月10日）**

5月10日から新型コロナワクチン接種の予約を開始しました。1人でも多くの人が接種できるよう、医療機関での個別接種に加え6月6日から11月14日までは、毎週日曜日に市内3か所で集団接種を行いました。また、民間団体が実施する職域接種なども進んだことから、対象住民の8割以上が2回目の接種を完了しました。12月からは医療従事者向けに3回目接種が始まりました。

## **4 東京2020オリンピック・パラリンピック聖火が倉吉へ（5月21日、8月16日）**

5月21日、東京2020オリンピック聖火リレーが山根から市営ラグビー場（駄経寺町2丁目）までのルートで行われ、21人のランナーが聖火をつなぎました。また、8月16日には県内でおこし採ったパラリンピック聖火を送り出す「集火・出立式」が倉吉パークスクエアで行われました。7月21日～28日にはスポーツライミングフランス代表チームが市内で事前キャンプを行うなどオリンピック開催に向けての機運が高まりました。

## **5 令和3年7月の大雨被害発生（7月7・8日）**

7月4日から13日にかけて、梅雨前線が西日本に停滞し中国地方に暖かく湿った空気が流れ込んだため、鳥取県では大気の状態が不安定となり各地で大雨となりました。倉吉市では7月7日・8日に記録的な大雨となり、各地で土砂崩れや浸水被害が発生し、農地、農業用施設および林道などに関連する災害は、激甚災害に指定されました。

## **6 「大坂弘道展」「第10回菅楯彦大賞展」同時開催（8月21日～9月26日）**

昨年に逝去された倉吉市名誉市民で人間国宝の大坂弘道さんの展覧会が行われ、ご遺族から新たに寄贈された最晩年の作品や道具、書籍などを展示しました。特に大坂さんの工房を再現した展示は人気を博しました。また同時期に平成2年の第1回展から30年の節目となる第10回菅楯彦大賞展が開催され、コロナ禍で制作された出品作品と歴代受賞作品や県内の受賞者作品を展示しました。

## **7 市営関金ラグビー場オープン（9月1日）**

県立美術館建設に伴い移転することとなった市営ラグビー場が、3月に関金総合運動公園内に完成しました。9月から利用を開始し、12月にはオープニングイベントを行い、記念式典やラグビーワールドカップ3大会連続出場の田中史朗選手を招き、ラグビー教室を開催しました。ラグビー競技だけでなくサッカー、グラウンド・ゴルフ、レクリエーションなど、さまざまなスポーツへの活用が期待されます。

## **8 新たな市民の代表、決まる（10月3日）**

期満了に伴う市議会議員一般選挙が10月3日に行われ、16人の新しい市議会議員が決定しました。任期である令和7年10月22日までの4年間、市民の代表として、さまざまな観点から行政施策に関する審議を行うなど、重要な役割を担います。また、10月25日に開催された市議会臨時会において、議長に福谷直美議員、副議長に藤井隆弘議員がそれぞれ就任しました。

## **9 小川氏庭園「環翠園」一般公開始まる（11月3日）**

国登録記念物・県指定名勝 小川氏庭園「環翠園」の整備が終わり、11月3日から一般公開されました。前日には開園式が行われ関係者が庭を散策し、匠の技術と色彩豊かな景観を堪能しました。「環翠園」は池泉回遊式庭園で個人の近代庭園として山陰屈指のものであり、明倫地区の新たな観光スポットとして期待されるほか、県立美術館や白壁土蔵群などとの連携により市の活性化も期待されます。

## **10 倉吉パークスクエアがオープン20周年を迎える（通年）**

平成13年にオープンした県立倉吉未来中心、鳥取二十世紀梨記念館（なしっこ館）、鳥取県男女共同参画センター（よりん彩）、倉吉交流プラザ（倉吉市立図書館）、倉吉市営温水プール、食彩館、屋外遊具などがオープン20周年を迎えました。今後、令和7年春に開館予定の県立美術館や大御堂廃寺跡との連携により、さらなる活用が期待されます。